



学校だより

令和 2年12月 1日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.515

「開校50周年記念式典」

校長 谷田 弘子

11月28日(土)に開校50周年記念式典が行われました。6年生が児童の代表として参加し、素晴らしいよびかけと演奏を披露しました。多くの保護者の皆様のお手伝いにより、無事に終えることができました。ご協力に感謝いたします。また、29日と30日と続いた「開校50周年記念展覧会保護者鑑賞日」には、多くの保護者の皆様に来校いただき、ありがとうございました。12月末発行の特集号がありますが、今回の学校だよりでは、式辞として話した内容の概略をお知らせいたします。

新鮮な空気と太陽があふれるこの「田柄に学校を」という地域の強い思いに、当時の農家の方が快く校地を提供してくださり、本校は開校できました。大地にしっかり根を張りまっすぐ伸びてほしいと願って移植された銀杏の木は今も本校のシンボルです。周年のキャラクターも銀杏にちなんで、45周年には「いちょうた」、50周年には、いちょうたの妹「ぎんな」が生まれ、さまざまな場面で登場しています。50年の間に受け継がれてきた歴代校長先生や開校当時から支えてきてくださっている歴代PTA会長をはじめ地域の方々の「学校のために」という思いは、当時の子供たちを通して引き継がれています。

今回の周年行事のテーマは「和」です。和は、平和の和、人々の和、安らぎの和、和風の和などさまざまな意味を持っています。本校では、ホテル観賞会、卒業を祝う餅つき、練馬大根づくり・沢庵づくり、茶道教室や卒業茶会、盆栽教室、落語の授業、そして能教室や狂言教室など、日本文化や伝統を引き継いできているさまざまな和の心を大切に、学習してきました。今年は新型コロナの感染拡大の影響で例年通りの活動ができなくなり、とても残念です。

6年生のみなさん、今日はおめでとうございます。みなさんは1～5年生の代表としてだけでなく、今まで50年間に田二小で学んできたすべての子供たちの代表として参加しているといえます。昨年12月7日、雪がちらほら降る中、「ぎんなまつり」が行なわれました。当時の6年生の代表は「ショップ隊」として、野菜売りのお手伝いをしました。5年生だったみなさんの代表は「クリーン隊」としてごみ拾いやリサイクルのお手伝いをしました。5年生のみなさんの働きは素晴らしく、おまつりに参加したお客様から、「校庭にゴミが全くないね。すばらしい。クリーン隊の活躍の成果だね。」とほめられたことを今でも忘れられません。自分が楽しむだけでなく、周りの人のために仕事をすることで、おまつりを大いに盛り上げてくれたのです。これから先も、ボランティアの精神を忘れずに、地域のための活動に積極的に取り組む大人に育ってほしいと願っています。

11月20日に行われた「児童集会」では、1～6年生の児童と教職員の願いを込めた風船が一斉に飛ばされました。色とりどりの風船は、みなさんの将来への夢や希望、願いを込めて大空に向かって飛び立っていきました。この50周年は、これからの飛躍につながる50周年でもあるのです。今日からまた新たな一歩を歩んで行ってください。

時は移り、人は変わっても、すばらしい田二小の伝統は、たくさんの方々の熱意に支えられながら、今後もさらに創造、発展し、充実を遂げることを確信しています。今後とも、田二小のために、なお一層のご指導、ご鞭撻、ご協力をお願いし、本日までご参会いただきました皆様に、心から感謝いたします。

12月生活目標 「学校をきれいにしよう。」

「小学校を卒業するまでに、掃除ができるような力を身に付けさせてください。」と中学校の先生に言われることがあります。子供たちには、掃除を通して、次の二つの力を育ててほしいと願っています。一つ目は、誰かに指示されて清掃をするのではなく、きれいにするためには、自分が何をすればよいのかを考え、行動する力です。二つ目は、自分のためだけではなく、みんなのために働くことを喜びと感ぜられるような、みんなのために働ける力です。年末の大掃除を控え、ご家庭でも、このような視点で掃除を見直し、話し合ってみていただけたら幸いです。

